

# NRIだより

- 1 トップメッセージ
- 3 連結業績ハイライト
- 4 2017年3月期のトピックスハイライト
- 6 2017年3月期第4四半期トピックス
- 8 トピックス/会社データ

## 2017年3月期 決算のご報告

[2016年4月1日～2017年3月31日]

### トップメッセージ



### 2017年3月期は、 中期経営計画初年度としての着実な一歩

2017年3月期の国内景気は、日銀のマイナス金利政策や英国の欧州連合(EU)離脱の決定、米国の政権交代など不透明な状況が続いたものの、緩やかな回復基調となりました。企業収益に改善の動きが見られる中、情報システム投資は堅調に推移しましたが、金融機関など一部に投資を抑える動きも見られました。

このような環境の下、長期経営ビジョン「Vision2022」の実現に向け策定した中期経営計画(2017年3月期

～2019年3月期)に基づき、生産性向上と既存事業の拡大に取り組むとともに、グローバルやデジタルビジネス分野等の新領域において、事業基盤の形成や実績の蓄積を進めました。

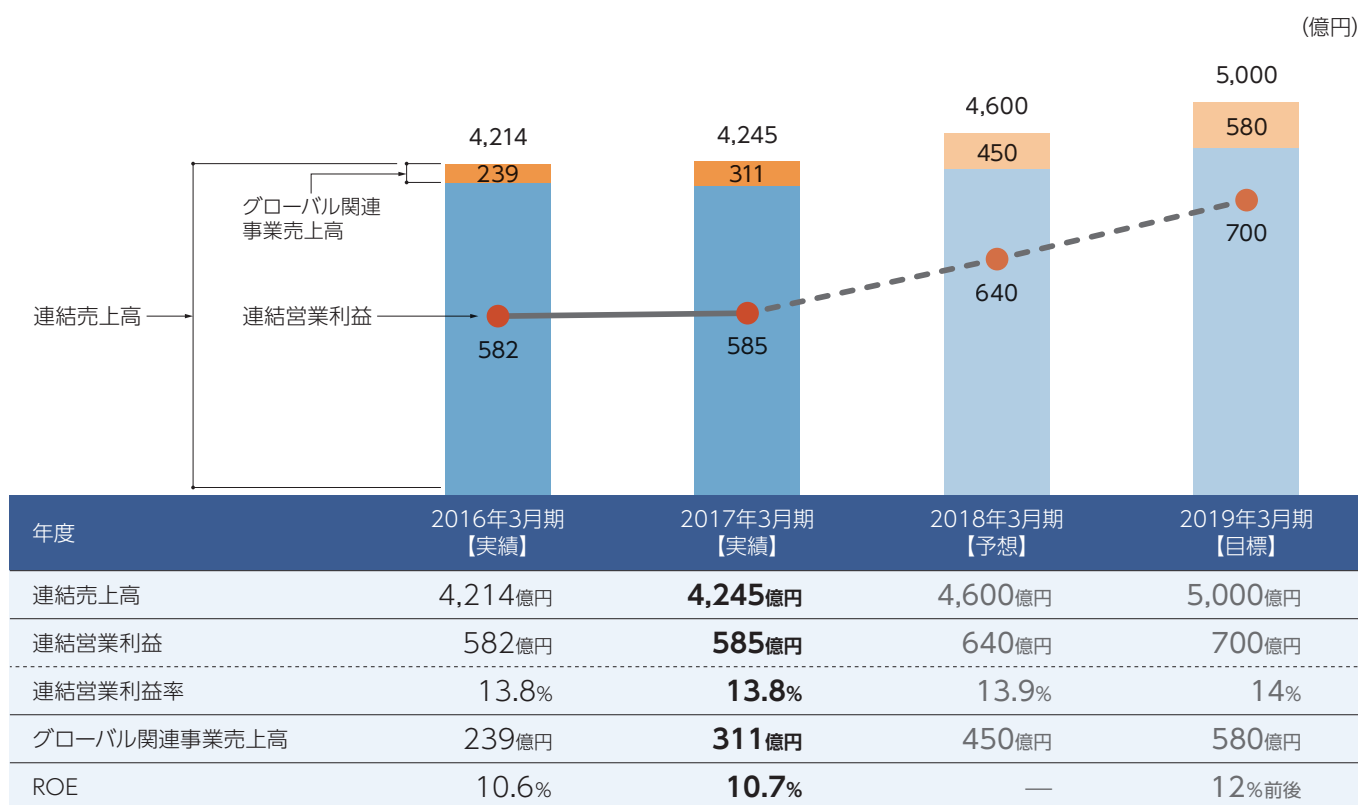
生産性向上と既存事業の拡大では、新たな開発手法の試行や、効率化や外部活用のニーズを持つ顧客に対する支援範囲の拡大に取り組みました。

グローバルビジネスでは、新技術やノウハウを持つ企業との協業やM&Aを進めました。資産運用領域の事業拡大を目的に、米国のCutter Associates社を子会社としました。また、豪州ITサービス市場への事業展開およびアジア地域等の事業拡大を目的に、豪州のASGグループを子会社としました。

デジタルビジネスでは、デジタルマーケティング、FinTech、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)の分野を中心に、新サービス開発や顧客との実証実験を進めたほか、デジタルビジネスを専門とするNRIデジタル株式会社を設立しました。

その結果、2017年3月期の当社グループ売上高は4,245億円(前期比0.7%増)、営業利益は585億円(同0.4%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は450億円(同5.7%増)となりました。

## 中期経営計画 (2017年3月期—2019年3月期) の数値目標



## 2018年3月期は、事業の一層の成長へ

2018年3月期は中期経営計画の2年目として、中期経営計画の目標達成に向けた取り組みを加速させていきます。事業の一層の成長に向けて、金融・産業分野の顧客大型化や共同利用型サービスの顧客・サービス範囲の拡大を進めます。また、グローバル、デジタル領域における仕込み・実績づくりをさらに加速させます。

さらに、予期せぬ大型不採算ゼロ継続のために品質監理の強化改善や、開発体制の集約化など生産革新を進めます。

2018年3月期の連結業績は、売上高4,600億円(当期比8.4%増)、営業利益640億円(同9.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益465億円(同3.2%増)を見込んでいます。

なお、中期経営計画では2019年3月期の連結業

績として、売上高5,000億円、営業利益700億円、ROE12%前後を目指しています。

## 記念配当で、株主還元を強化

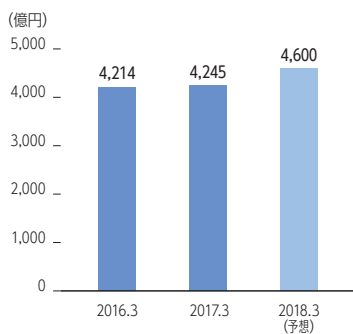
2018年3月期は、株式会社野村総合研究所と野村コンピュータシステム株式会社が合併して30年目の年になります。そこで、2018年3月期の配当金については「NRI合併30周年記念配当」を1株につき10円実施し、普通配当と合わせた1株当たり配当金は、年間90円(第2四半期末45円、期末45円。それぞれ普通配当40円、記念配当5円)を予定しています。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

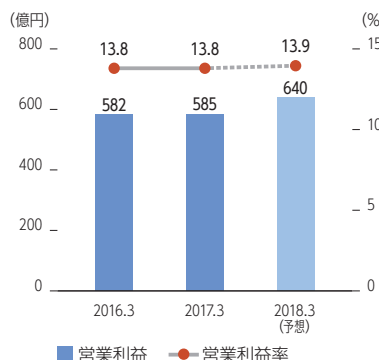
2017年5月  
代表取締役社長

此本 臣吾

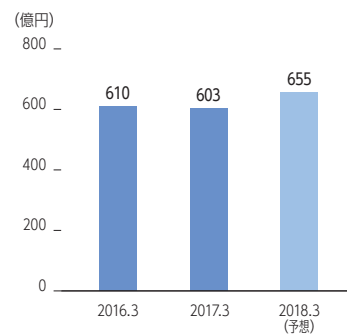
## 売上高



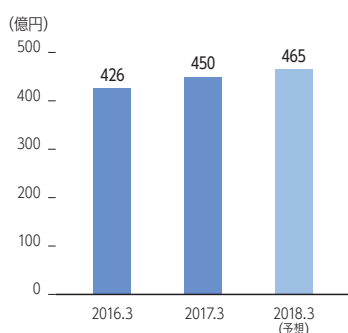
## 営業利益／営業利益率



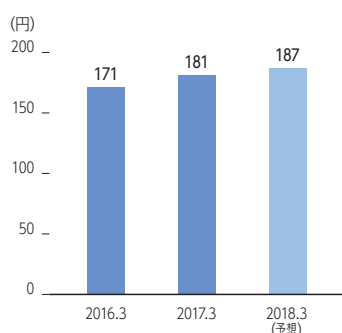
## 経常利益



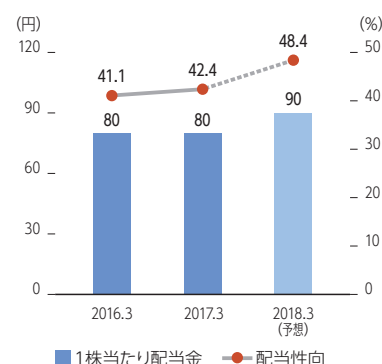
## 親会社株主に帰属する当期純利益



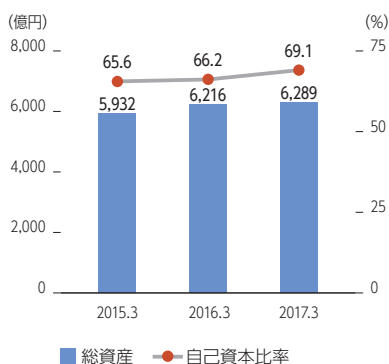
## 1株当たり当期純利益 (EPS)



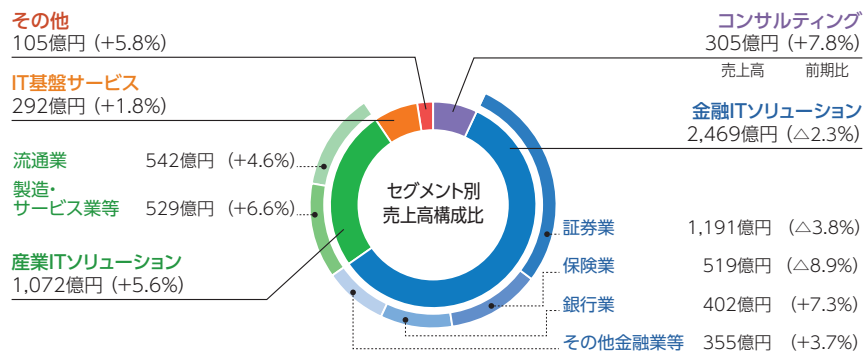
## 1株当たり配当金／配当性向



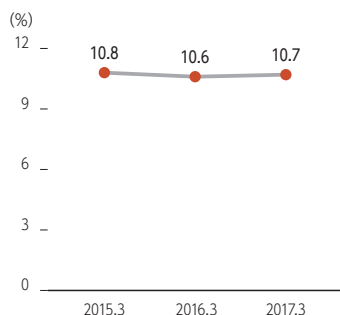
## 総資産／自己資本比率



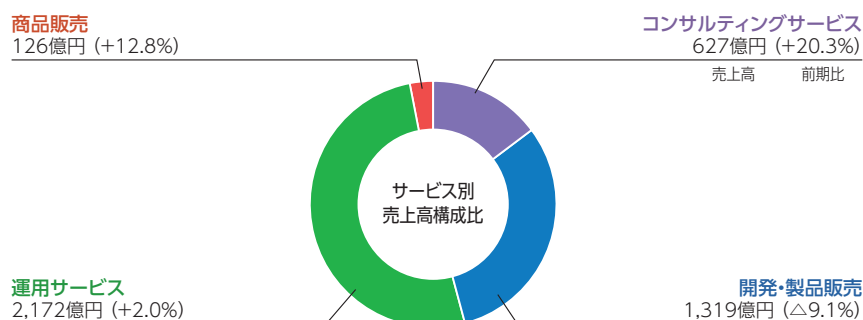
## セグメント別外部売上高 (前期比) (2017年3月期)



## ROE



## サービス別売上高 (前期比) (2017年3月期)



(注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり当期純利益・配当金は円未満)を切捨てて表示しています。  
 2. 当社は、2015年10月1日付、および、2017年1月1日付で、それぞれ普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割をおこないました。1株当たり当期純利益は、株式分割を遡及修正した数値を表示しています。1株当たり配当金は、株式分割を遡及修正していない数値を表示しています。  
 3. 配当性向は、NRIグループ社員持株会専用信託に対する配当金を含めて計算しています。  
 4. 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しています。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

## NRIの1年間のあゆみをハイライトでご紹介します。

2016年 4月 Category 金融ITソリューション

### ブロックチェーン技術の証券分野での活用に向けた、実証実験第2弾を実施

株式会社日本取引所グループと共同で、ブロックチェーン技術の株式市場における適用を目的に、実証実験を実施しました。

4月 Category 金融ITソリューション

### 2つのソリューションが米国のアワードを受賞

米国金融専門メディアFinancial Technologies Forum(FTF)が毎年開催するFTFニュース・テクノロジー・イノベーションアワード2016において、ポストトレード業務の効率化を支援する「プライム・セトルメント・サービス」がベスト・クリアリング・アンド・セトルメント・ソリューション賞を、資産運用会社向けの資産運用支援サービスである「T-STARファミリー」がベスト・アウトソーシング・プロバイダー賞を受賞しました。



6月 Category 金融ITソリューション

### 米国Cutter Associates社を買収

米国の資産運用分野の研究およびコンサルティングを提供するCutter Associates社を買収し、子会社としました。



7月 Category IT基盤サービス

### 窓口業務の効率化と高度化を支援するAI型ソリューション「TRAINA / トレイナ」提供開始

コールセンターなど窓口業務において、問い合わせの内容を的確に理解し、過去に得た知識をもとに、回答候補を提示したり、自動で回答したりするAI(人工知能)型ソリューションの提供を開始しました。

8月 Category IT基盤サービス

### NRIデジタルを設立


AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)などデジタルテクノロジーの進展を背景に、「デジタルビジネスコンサルティング」「デジタルITソリューション」「デジタルアナリティクス」の3つのサービスを提供する新会社を設立しました。



9月 Category 金融ITソリューション

### 2つの金融ITサービス企業世界ランキングでトップ10入り

金融ITサービス企業の世界ランキングの、IDC Financial Insightsが毎年発表する「FinTech Rankings」で第9位、American BankerとBAIが同じく毎年発表する「FinTech Forward Rankings」で第10位に選ばれました。これら2つの世界ランキングでは、7年連続でトップ10入りとなります。



9月 Category ESG

### 世界的な社会的責任投資指標「DJSI Asia Pacific」構成銘柄に選定

社会的責任投資(SRI)の世界的な株価指数であるDow Jones Sustainability Indices(ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス)のアジア・太平洋版「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に、NRIが今回初めて選定されました。



9月 Category ESG

### 国内初の「グリーンボンド」を発行

グリーンボンドは、地球温暖化をはじめとした環境問題の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行される債券です。調達資金は、2017年春に移転した、環境負荷の低い横浜野村ビルの持分取得に充当しました。

10月 Category  
金融ITソリューション

## リテール証券向け「STAR-IV DRサービス」を開始

リテール証券のバックオフィス業務をサポートする共同利用型システムに、災害復旧機能を追加しました。

12月 Category  
産業ITソリューション

## 日本航空と新サービスを共同開発



日本航空株式会社と共同開発した、6,000マイルで4つの行先候補のどこかに行ける日本国内線特典航空券「どこかにマイル」の提供を開始しました。

詳細は、以下のURLをご覧ください。  
<https://www.jal.co.jp/jmb/dokokani/>

12月 Category  
ESG

## 「NRI学生小論文コンテスト2016」の入賞者が決定

11回目となる今回は、「Share the Next Values! 世界を変える、新たな挑戦」をテーマに、過去最多となる合計3,103作品の応募から、2作品が大賞に選ばれました。



2017年 2月 Category  
金融ITソリューション

## 「VOLCS(フォルクス)」が米国のアワードを受賞

2016年6月に金融機関向けに提供を開始した多目的業務システム「VOLCS」が、米国のアワードを受賞しました。



詳細はP.6ご参照 \

11月 Category  
産業ITソリューション

## デジタル・ロイヤリティ・マーケティングの企画・構築・運用の支援サービスを開始

グループ会社のブライアリー・アンド・パートナーズ・ジャパンが、消費者向け電子商取引(EC)において、優良顧客層の囲い込み(他社への乗り換え防止)を目的とするロイヤリティプログラムの企画、構築、運用を一体的に提供するサービスを開始しました。

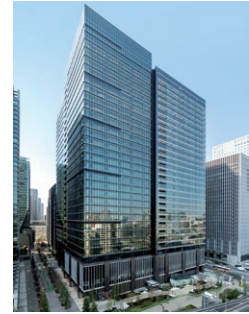
12月 Category  
コンサルティング

## 第3回「生活者1万人アンケート調査(金融編)」の調査結果を公表

2016年の8~9月に、全国の18~79歳の男女約1万人を対象に、金融意識や金融行動を尋ねるアンケート調査を実施しました。本調査は、2010年、2013年に続き、今回で3回目となります。

12月 Category  
その他

## 本社を移転



2016年12月19日に本社を移転しました。新本社ビルは、国内では最上位のBCP(事業継続計画)機能や環境性能を有しています。

**新本社所在地:**  
東京都千代田区大手町一丁目9番2号  
大手町フィナンシャルシティ  
グランキューブ

12月 Category  
産業ITソリューション

## 豪州ASGグループを買収

パッケージソフトウェアとクラウドを組み合わせたサービス提供を得意とする豪州のASGグループを買収し、子会社としました。



3月 Category  
ESG

## 女性活躍推進に優れた上場企業として平成28年度「なでしこ銘柄」に選定

女性活躍推進に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で公表する「なでしこ銘柄」に選定されました。

詳細はP.7ご参照 \

## 金融機関の「期日管理」「資金管理」「為替管理」業務をサポートする「VOLCS」が米国のアワードを受賞

～ファンドテクノロジー・WSLアワード2017 ベスト・ユーティリティ・テクノロジー賞～

FUND TECHNOLOGY

### Fund Technology and WSL Awards

Winner

金融機関向けASP型多目的業務システム「VOLCS<sup>※1</sup>」は、2017年2月に「ファンドテクノロジー・WSLアワード2017」で、ベスト・ユーティリティ・テクノロジー賞を受賞しました。

この賞は、金融テクノロジー関連の専門メディアであるファンドテクノロジーとウォール・ストリート・レター

(WSL)が主宰し、証券会社や資産運用会社向けの優れたソリューションや企業を表彰するものです。

「VOLCS」は、金融機関が保有する基幹系システム等の既存システムでは、迅速な対応が難しい3つの機能「期日管理」「資金管理」「為替管理」に関するソリューションです。仕組債<sup>※2</sup>の販売促進、決済時限の短縮、業務効率化によるオペレーションリスクや要員数の低減等の導入効果が期待できます。

※1 VOLCS(フォルクス): 多目的金融取引管理システム「Visualized OTC Products and Liquidity Control System」の略称。

※2 仕組債: オプションやスワップなどのデリバティブ(金融派生商品)が組み込まれた債券。

## 2021年までのITロードマップをとりまとめ

NRIは、これからのビジネスや社会に広く普及し、さまざまな影響を及ぼすと考えられる情報通信関連の重要技術が、2021年までにどのように進展し実用化されるかを予測した「ITロードマップ」をとりまとめました。

今回、重要技術として取り上げたのは、「AI(人工知能)」「チャットボット」「VR(仮想現実)・AR(拡張現実)」「ペイメント2.0」「APIエコノミー2.0」「FinTech」「デジタルマネーマネジメント」「デジタル・ロジスティクス」「プログラマティック・マーケティング」の9つです。また、年々重要度が高まっているセキュリティ技術の中から、「マルウェア対策」「DevSecOps」の2つを取り上げ、その動向についても解説しています。

具体的には、東洋経済新報社より2017年3月に発売した単行本『ITロードマップ 2017年版～情報通信技術は5年後こう変わる!～』に掲載しています。



東洋経済新報社 発行  
(2017年3月9日)

## 「IoTセキュリティコンサルティングサービス」を提供開始

～IoTや制御システムのセキュリティ状況を可視化～

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社(以下、「NRIセキュア」)は、IoT(モノのインターネット)やそれに関わる制御システムを対象とするセキュリティ対策について、現状課題の把握から最適なセキュリティ対策の実行までを支援する「IoTセキュリティコンサルティングサービス」を、2017年3月6日より提供開始しました。

このサービスは、NRIセキュアが独自に開発した、IoTや制御システムに特化したセキュリティ状況の可視化フレームワーク「NRI Secure Framework for

IoT」を用いて、ユーザー企業のIoTおよび制御システムに関するセキュリティの状況を網羅的かつ具体的に把握、評価し、課題を抽出します。そして、事業の種類や環境、対象となる技術や機器などに応じた最適な対応策を提示します。



「IoTセキュリティコンサルティングサービス」の詳細は、以下のURLをご参照ください。

[https://www.nri-secure.co.jp/service/consulting/iot\\_security.html](https://www.nri-secure.co.jp/service/consulting/iot_security.html)

NRIは、「健康経営・ワークライフバランス実現」や「女性活躍推進」の取り組みを通じて、社員一人ひとりが十分に能力を発揮し、より活躍できるための環境の整備を進めています。

以下では、実践の成果が認められた直近の事例を紹介します。

## 女性活躍推進

### ●女性活躍推進に優れた上場企業として、平成28年度「なでしこ銘柄」に選定



NRIは、2017年3月23日に、女性活躍推進に優れた上場企業として、平成28年度「なでしこ銘柄」に選定されました。

「なでしこ銘柄」は、2012年度から経済産業省と東京証券取引所が共同で、「女性活躍推進」に優れた上場企業を、「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介し、投資や各社の取り組みを促進するものです。また、NRIの子育て支援の取り組みについて、平成28年度「なでしこ銘柄」レポートの「注目企業」にも選ばれています。

### ●女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定の最高位を取得

NRIは、2017年1月26日に、厚生労働大臣より、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良な企業として、「えるぼし」企業に認定されました。

この認定制度は、2016年4月施行の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づくもので、NRIは、「1.採用」「2.継続就業」「3.労働時間等の働き方」「4.管理職比率」「5.多様なキャリアコース」の全ての評価項目で基準を満たし、最高位である3段階目の認定を取得しました。



## 健康経営・ワークライフバランス実現

### ●「第9回ワークライフバランス大賞」優秀賞を受賞

NRIは、2016年11月に、公益財団法人日本生産性本部ワークライフバランス推進会議が選定する「第9回ワークライフバランス大賞」の優秀賞に選ばれました。

この賞は、個人のワークライフバランス実現を支援している企業・組織での優れた成果をあげている事例や、地域・社会に大きな貢献を果たしている事例を表彰するものです。

### ●「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定を取得



2017  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

NRIは、2017年2月21日に、経済産業大臣より、特に優良な健康経営を実践している大企業の法人として、「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定されました。

NRIは、経済産業省による平成28年度健康経営度調査において、3年連続で最上位層の上位20%に入り、規模の大きい企業や医療法人を対象とした「大規模法人部門」で認定基準に適合し、本認定を取得しました。

## NRIだよりが年2回発行に変わります

これまで四半期ごとに発行していたNRIだよりは、今年度より、半期ごとの年2回発行に変わります。

今後も多くの株主の皆様にご活用いただけるよう、誌面の充実と改善に努めてまいります。

これまで	今年度より
<b>年4回</b> 第1四半期 第2四半期 第3四半期 期末	<b>年2回</b> — 第2四半期 — 期末

## NRIグループ社員による出版物のご紹介

AI(人工知能)  
まるわかり

日本経済新聞出版社 発行  
(2017年3月25日)

生活・ビジネスの変化が一目瞭然!  
研究・実用化の最前線、さらなる技術  
進歩の展開、AIとの正しいつき  
あい方まで、世界の最先端を知る  
著者たちが解説。

## 会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所(NRI)設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター(NCC)設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所第一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 此本 臣吾
従業員数	6,003名/NRIグループ 11,605名 (2017年3月31日現在)

## 株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店または証券代行部テレホンセンターまでお問い合わせください。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL <a href="http://pn.nri.com/">http://pn.nri.com/</a> ) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先・照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711(通話料無料)

株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
TEL 03-5533-2111 <http://www.nri.com/jp/>